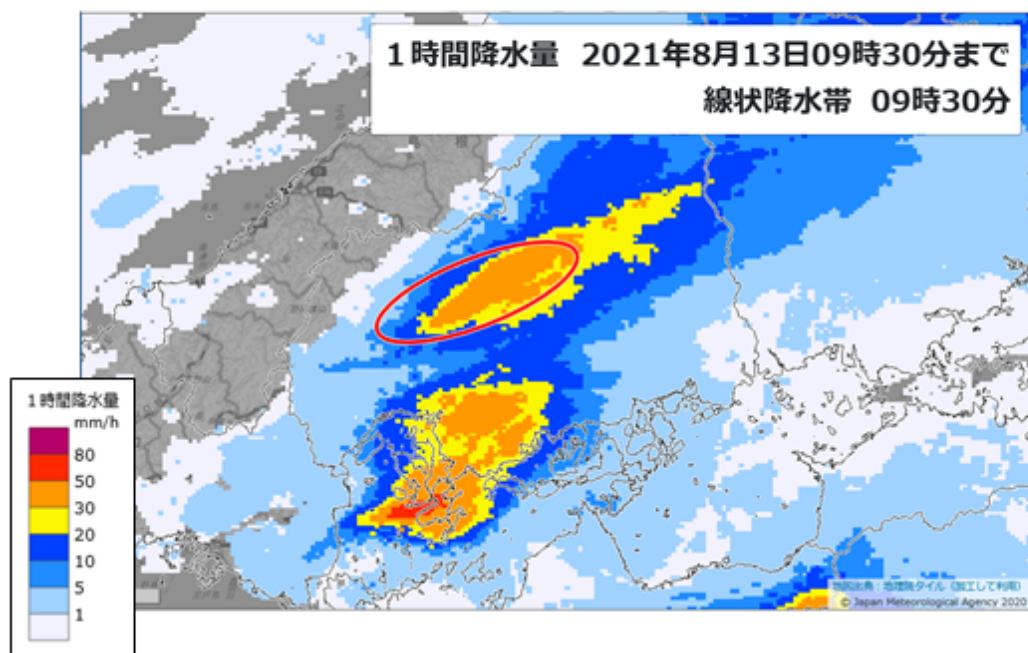


大雨と突風及び落雷に関する広島県気象情報 第11号

令和3年8月13日10時00分 広島地方気象台発表

広島市を中心に、線状降水帯による非常に激しい雨の降りやすい状況が続いています。これまでの大雨により地盤が緩んでいる所があり、引き続き、土砂災害に最大級の警戒が必要です。

解析雨量（1時間降水量）



大雨災害発生の危険度が急激に高まっている
線状降水帯の雨域

広島市を中心に、これまでに経験したことのないような大雨となっています。何らかの災害がすでに発生している可能性が高く、警戒レベル5に相当します。命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保しなければならない状況ですので、最大級の警戒をしてください。

<雨の予想>

13日12時から14日12時までに予想される24時間降水量は、いずれも多い所で、

南部 200ミリ

北部 200ミリ

地図出典：「地理院タイル」 (<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)

今後発表する防災気象情報に留意してください。

次の広島県気象情報は、13日15時頃に発表する予定です。